下関市立東行記念館常設企画展

庵主三代物語



初代庵主 谷 梅処



二代庵主 谷 梅仙



三代庵主 谷 玉仙

2026年 12月15日(火) ～ 2027年 3月14日(日)

下関市立東行記念館

【住　　所】山口県下関市大字吉田1184番地
【電話番号】083-284-0212
【開館時間】9:30～17:00(最終入館16:30)
【休 館 日】毎週月曜日(1月11日は開館)・祝日の翌平日・年末年始(12月28日～月4日)
【観 覧 料】一般300円(240円)・大学生等200円(160円)
※(　　)内は20名以上の団体料金
※下関市内及び北九州市内に居住する65歳以上の方は観覧料150円
※18歳以下の方、高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在学の生徒、障害者手帳等をお持ちの方は無料
※年齢、居住地等で割引を受ける場合は、公的証明書が必要

谷梅処写真 部分・谷梅仙写真 部分・谷玉仙写真 部分
※全て東行庵蔵・当館寄託の資料でパネル展示しています。

庵主三代物語

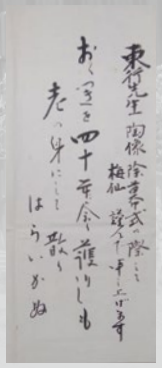
明治期に建立された高杉晋作の菩提寺東行庵。歴代庵主は、若くして亡くなった晋作を弔い、東行墓を守り続けました。
初代庵主谷梅処（うの）は、晋作を支え続けた女性の一人であり、晋作が亡くなると、彼を弔うために残りの生涯を捧げました。先代の想いを引き継いだ二代庵主谷梅仙は、晋作や梅処によって結ばれた縁を大切にしながら、墓を守り続けます。そして、三代庵主玉仙は、初代以来の使命を継承して晋作の冥福を祈るのみならず、奇兵隊士たちの供養も行うなど、活動を広げていきました。
本展では、高杉晋作の墓を守り続けた東行庵三代庵主の谷梅処・谷梅仙・谷玉仙について紹介します。

晋作が初代庵主梅処に贈った鞄



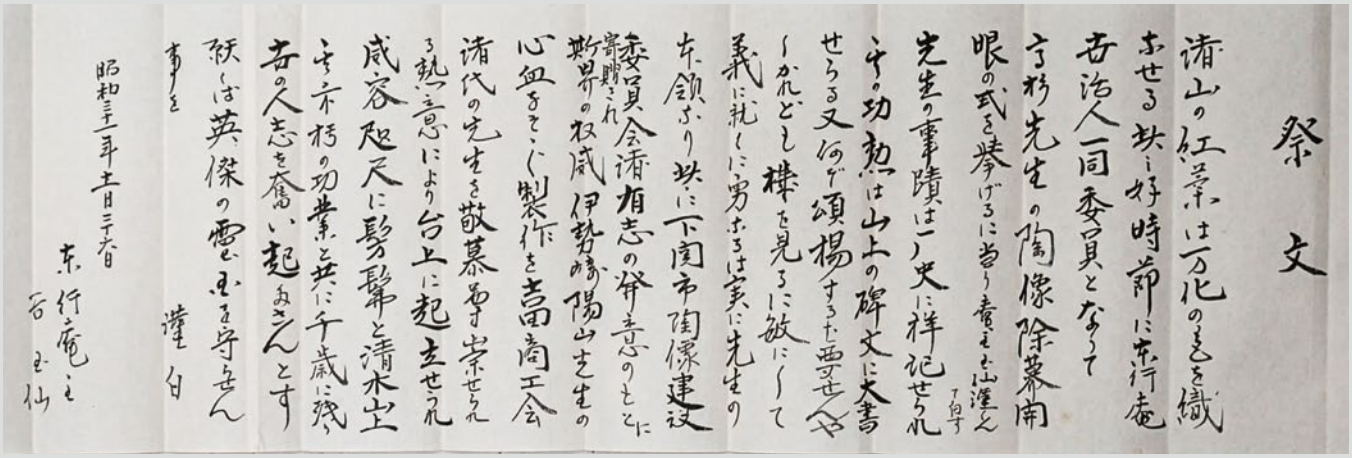
鞄（東行庵蔵・当館寄託）

二代庵主梅仙の想い



祝歌（東行庵蔵・当館寄託）

高杉晋作陶像除幕式で語った三代庵主玉仙の言葉


祭文

浦山の紅葉は万化の美を織
おせる如く好時節に東行庵
西治人一同委員となって
高杉先生の陶像除幕南
眼の式を挙げるに当り衷心を山窪ん
先生の事績は一史に詳記せる
千の功勲は山上の碑文に大書
せらるる又何ぞ須臾すると雖も
〜かれども棹を見るに及〜て
義に赴くに勇ある実に先生の
余領ふり処に下関市陶像建設
委員会諸有志の発意のもとに
嘗賜され断髪の松蔭伊勢神陽山先生の
心血をそそぐ製作を高岡工会
浦代の先生を敬慕崇せられる
る熱意により台上に起立せる
威容恰尺に髣髴と清水山
を亦材の功業と共に千歳に残
吾人志を奮い起ねんとす
然れば英傑の霊ま守らん
ま
を

昭和三年十月三十日
東行庵
谷玉仙

祭文（東行庵蔵・当館寄託）

【おすすめの資料】
本展では、高杉晋作が梅処に贈った鞄を展示しています。鞄には、梅処が縫合したと思われる部分があり、彼女が大切に使っていたことがわかります。
ぜひご覧ください。



学芸員 久保 槙一郎

交通のご案内

★公共交通機関でお越しの方
JR小月駅から美祢駅・湯谷・吉田方面行のバスに乗車（約15分）
JR下関駅から美祢駅・湯谷・吉田方面行のバスに乗車（約50分）
★バス停
「東行庵入口」で下車（徒歩10分）
「東行庵前」で下車（徒歩5分）
★お車でお越しの方
小月ICより5〜10分
美祢西ICより10〜15分

